

楠正行通信 第 159 号

この通信が 2 ヶ月程遅れました事をお詫び申し上げます。

実は、扇谷代表が 3 月末に体調不良で緊急搬送され、現在もまだ入院中で 1 日も早い回復を願うばかりで御座います。

従いまして 4 月～5 月に掛けて実施しました正行の会の運営状況をご報告いたします。

3 月度の例会において、扇谷代表は今年度も大阪電気通信大学との産学連携事業、社会プロジェクト実習について既に

「ゲーム制作第 4 弾 遊んで学ぶ四條畷の馬文化」の計画を発表しており、会員総力を挙げて取り組みました。

4 月 26 日 大阪電気通信大学四條畷キャンパスで、木子先生、由良先生の教室で今年度の社会プロジェクト実習生 43 名と

楠正行の会の 6 名初対面。楠正行の講義を土井企画委員より太平記を交えて熱の籠った講義となりました。

「**講義感想文**」・楠正行のエピソードで一番印象に残ったのは、大川に溺れる敵兵を救ったという敵味方を区別しない

武士道精神そのものと思います。

・武士道の精神を持ち、己の信念を貫く誠実な生き様に感銘を受けた。

私も 21 歳になり、正行の享年と近いが至らない点が多々ある。時代が違うので全てと

はいかないが、優しさや正しさの

姿勢など見習いたい。

・楠正行の話を聞いて、楠正行がどれだけ正義感と人への思いやりがある人間なのかが分かった。

相手が敵でもピンチの人をほっておかないで助けてあげるエピソードがとても印象に残った。

若くして亡くなられて居るが、現在でも楠正行の会があり、楠正行の栄光が語り継がれているのを見て

当時から周りの人間に愛されていたのだろうと思った。





5月10日 大阪電気通信大学、社会プロジェクト実習生に「馬文化発祥の町」と題して、講義を四條畷市立歴史民俗

資料館館長 野島稔様をお迎えして、古墳時代の中期、朝鮮半島から最新技術が伝わり、四條畷は馬文化の奥深さを

スクリーン映像と講義に学生も聞き入りました。

四條畷市職員より企画広報課 川原様 地域振興課 松岡様 文化公民館振興課 池口主任 ご出席頂きました。



5月20日 大阪通信大学・社会プロジェクト実習生に「馬文化発祥の町」の現地学習

現地学習コース ①水未来センター ②正法寺 ③市民総合センター ④四條畷市立

歴史民俗資料館

野島館長より、渡米人が馬文化を伝え、馬匹文化に便利な生活文化も根付いた先進的な

地域となり、四條畷を中心に

した地域で育った馬は最新の軍事、運輸、通信に重要な役割を果たし、王権を支えた等

の素晴らしい解説を頂きました。



「現地調査コメント集・歴史を知るとはやはり楽しい。身近に大きな歴史があること

を改めてする良い機会であった。

社会プロジェクト開始時には全くなかったゲームのイメージが湧いてきた。

時間のある時には、そのゲームの内容を考えるほどアイデアに溢れている。

・20 日の散策は非常に楽しく、興味を惹かれました。朝鮮半島から馬が運ばれている

ことを知り、天皇に献上していることも

驚きました。四條畷の馬文化と楽しさの調和したゲームを作っていきたい。

・課外学習において、今まで座学で学んだ馬文化の詳細の他にも、四條畷に関わっている

街道の歴史や、イエズス会と四條畷

の関係など、日本史や世界史に対して深い繋がりがあることがわかった。課外授業で学

んだ事を今回企画するゲームのネタ作り

に活用していきたい。

等々のゲーム制作意欲コメント 33 件ありました。

4 月にご入会 筑前琵琶奏者 門井旭蓮様

筑前琵琶奏者で楠木正成公、正行公を始め源平もの・戦国時代の物などを伝える伝統芸

能で語り、音楽で史実を知ることにも演者

として大切な要因の一つと考えています。と紹介され、その後楠正行公最期を語る「四

條畷」の名曲をご披露頂きました。

会員一同感激いたしました。

「楠正行の末裔」 楠正行の末裔と三重県いなべ市の藤田修御夫妻が是非お会いしたい

と言われ四條畷神社・教育文化センター

・小楠公墓所へのご案内いたしました。教育文化センターにある楠正行資料室を見学し

て頂き、小楠公墓所の見事なご神木の楠

を仰がれ、惜しまれながら帰られました。後日改めて貴重な藤田家の家系図をお送り頂

きました。

四條畷楠正行の会

扇谷代表は3月に体調を崩されて早2か月が過ぎました。

令和5年度の充実したチャレンジ項目にどれだけ奮起したことでしょうか！史実の少

ない中、扇谷代表の楠正行に対するエネルギー

感じる所存です。一日も早く回復される事を心の底からお祈り申し上げます。

「この四條畷楠正行の会を微力ではございますが全員で守り抜く決意です。」